

## 自分にできる一歩

ワークショップの最後に、参加者各自が「自分にできる一歩」を紙に書き上げました。

ほかにひとりの一歩は、どんな事でも。自分事と考えよ。

自分にできる一歩は？  
笑顔を見せよう！  
笑顔と幸せをひびかせる  
つらいことも笑顔で「ホシラッ！」  
相手も笑顔・幸せを！

地域行事に参加出来る。  
参加し、地域の良さを知りたい。

大きな声で  
あいさつ

まわりの人に  
毎日笑顔で挨拶

自分にできる一歩は、  
自分から  
声をかける!!

福祉でいばん大切なものは、  
人と人の温かな心のつながり  
かなと 今日の皆さんの意見を聞き、  
思いました。  
貴重な意見を若く世代から聞き、  
頼もしく思いました。

笑顔で  
挨拶!!

計画の策定にあたっては、協議会、アンケート調査、ワークショップ、パブリックコメントなどを通じて、多くの皆さんから意見をいただきました。

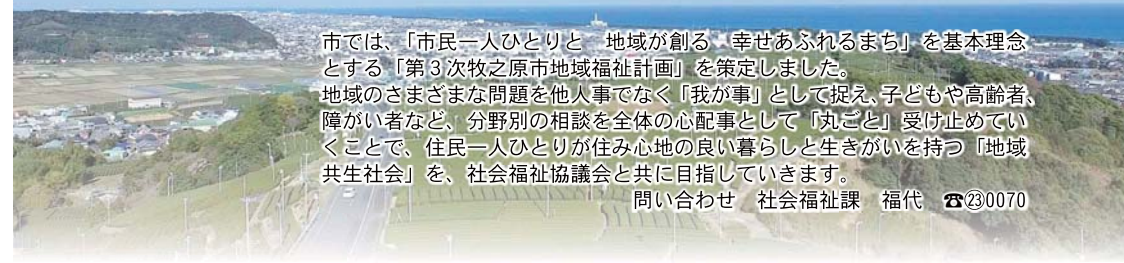


ワークショップでは、市内中高生や近隣大学生、民生委員、地区長など、世代を超えた皆さんと一緒に「私たちが幸せに暮らすために、私たちにできることは？」というテーマについて考え、意見を出し合いました。



私たちが幸せに暮らすために私たちの地域でできることは何ですか？

# 第3次地域福祉計画を策定 市民一人ひとりと 地域が創る 幸せあふれるまち



市では、「市民一人ひとりと 地域が創る 幸せあふれるまち」を基本理念とする「第3次牧之原市地域福祉計画」を策定しました。地域のさまざまな問題を他人事ではなく「我が事」として捉え、子どもや高齢者、障がい者など、分野別の相談を全体の心配事として「丸ごと」受け止めていくことで、住民一人ひとりが住み心地の良い暮らしと生きがいを持つ「地域共生社会」を、社会福祉協議会と共に目指していきます。

問い合わせ 社会福祉課 福代 ☎030070

## 基本目標1

助け合いの「心」を育てる

[地域福祉に関する情報提供]

- ▶福祉に関心を持ちましょう
- ▶誰もが福祉に関する情報を知るようにしましょう

[地域や学校における福祉教育の推進]

- ▶地域福祉について理解を深めましょう
- ▶講座や地域行事への参加を通じ、助け合いの心を育みましょう

## 基本目標2

助け合う「人」を育てる

[地域活動への参加の促進]

- ▶誰もが楽しんで地域活動に参加するまちにしましょう

[新たなリーダーの育成]

- ▶新たな活動の担い手を育成しましょう

## 計画の



## イメージ

## 基本目標3

地域で助け合う「仕組」を育てる

[地域活動の推進]

- ▶地域のさまざまな問題を「我が事」として捉え、地域で助け合います

[防災・防犯活動の推進・充実]

- ▶地域ぐるみで防災・防犯に取り組み、安心して暮らすことのできるまちを築きましょう

## 基本目標4

幸せあふれる「環境」をつくる

[福祉支援の充実]

- ▶誰もがサービスを安定して受け、有効活用できるよう、市民・事業所・行政などが連携しましょう

[多様な福祉問題を抱える人に対する支援]

- ▶多様化する福祉の問題に誰もが関心を持ち、理解し、地域で困っている人に手を差し伸べられるようにしましょう

[権利擁護のための体制の強化]

- ▶お互いの人権を尊重し、虐待や人権侵害のないまちにしましょう